広島県医師連盟ニュース

2016.4.1
第 29 号
定価　1年400円
（但し県医連会費に含む）

広島県医師連盟ニュース
発行所
広島県医師連盟
〒732-0057
住所　広島市東区二葉の里三丁目2番3号
TEL　082(568)1522
FAX　082(568)1523

広島県医師連盟執行委員会

第24回参議院議員選挙 広島県医師連盟推薦候補者を決定

平成28年2月22日(月)午後9時より、広島県医師会館において、標記執行委員会を開催した。執行委員会では、第24回参議院議員選挙推薦候補者について協議し、宮沢洋一（自由民主党）氏を推薦候補者とすることを決定した。

平松恵一委員長挨拶

本日は、平日の夜遅くにも関わらず本執行委員会にご出席下さり誠にありがとうございます。開会にあたり、一言、ご挨拶申し上げます。

さて、ご承知のとおり、一昨年11月に開催されました日本医師連盟執行委員会において、来る平成28年7月実施予定の第24回参議院比例代表選挙における日本医師連盟推薦候補者として日本医師連盟参与である自見はなこ先生が決定されました。また、当連盟においても昨年2月28日に開催しました本委員会において自見はなこ先生を推薦候補者とすることを決定しております。

さらに、自見はなこ先生は昨年8月3日に正式に自民党公認候補として機関決定され、現在、参議院選挙に向けて精力的に活動しておられます。

本日は、広島選挙区における県医師連盟の立候補予定者の推薦について、自見はなこ先生への支援活動についてが主要な議題でありますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、消費税率10％への引き上げが来年の4月に延期になり、消費税引き上げ財源がない厳しい国家財政の中で迎えた平成28年度の診療報酬改定は、診療報酬全体はマイナス改定でしたが、本体の技術料が0・49％のプラス改定になったことは、われわれ医師会及び医師連盟が総力を挙げて政府に働きかけた結果であり、厳しい中でも最悪の結果を回避できたものと思っております。

国民の健康を守るための医療政策を実現するためには、政府や与野党の議員に働きかけ、理解を得るとともに、羽生田議員のように組織内から国会議員を出して直接国政の場で活動することが重要です。現在、県医師会としては、医療に関る消費税を含む税制の抜本的改革を求める意見書を県議会で採択して頂くよう林前議長、平田議長、各会派会長、政調会長に直接お会いしてお願いしました。県議会はそれを衆参両院議長への提出します。今後は、衆参両院議員へもお願いする予定です。意見書のひな型は日医のもので、日医ももちろんわれわれと共闘してゆきます。その地道な活動を積み重ねなければわれわれの医療政策の実現は叶いません。そのためには、医政活動の重要性を会員の先生方にもしっかりと理解して頂き、医師連盟活動に積極的に参加して頂くことにより、強い組織作りを行っていきたいと思いますので引き続いての皆様方のご協力、ご支援をお願いいたします。

広島県医師連盟収支報告書（平成27年分）

自　平成27年1月1日
至　平成27年12月31日

収入の部	（円）	支出の部	（円）
個人負担金（※）	34,083,000	政治活動費	37,611,000
		組織活動費	2,354,000
寄付	13,552,000	選挙関係費	500,000
交付金（日医）	13,552,000	その他の事業費	0
その他寄付	0	寄付・交付金（日医負担金等）	34,757,000
その他の収入（預金利息・手数料）	0	事務所費	4,922,254
		旅費交通費	1,198,023
		通信運搬費	847,539
		消耗品費	14,091
		印刷製本費	474,681
		什器備品費	0
		委員会費	2,129,197
		雑費	258,723
小計	47,635,000	小計	42,533,254
前年度繰越金	46,007,063	次年度繰越金	51,108,809
合計	93,642,063	合計	93,642,063

（※）個人負担　21,000円×1,623名＝34,083,000円

貸借対照表

（平成27年12月31日）

1．資産の部	
(1) 流動資産	
(イ)現金預金	51,108,809
広島信用金庫　普通預金	51,108,809
(ロ)未収入金	0
流動資産合計	51,108,809
2．資本・負債の部	
(1) 流動負債	
未払金	0
流動負債合計	0
3．差引正味財産	51,108,809

政策協定書（案）

第二十四回参議院議員通常選挙において、○○○○候補と、広島県医師連盟委員長　平松恵一は次の内容について政策協定を締結する。

記

○○○○候補は、左記の政策協定事項を鋭意実現するものとする。また、広島県医師連盟は、○○○○候補者の当選に向けて一致団結して取り組むものとする。

政策協定事項

一、国民が住み慣れた地域で質の高い医療を受けられるよう、デフレ脱却による経済成長によって得られた税収は必ず社会保障の充実に充てる。

一、経済格差等により、受けられる医療・介護に格差が生じないよう万全の体制を講じる。その際、地域特性を十分に勘案して、県民が安心できる医療・介護体制を構築する。

一、かかりつけ医を中心とした「切れ目のない医療・介護」を国民に提供し、地域包括ケアを推進する。

一、持続可能な社会保障制度とするため、「社会から支えられる側」であった高齢者が、「社会を支える側」になるよう健康寿命の延伸を目指す。

一、医療機関等における控除対象外消費税問題については抜本的解決を図る。その際、患者負担を増やさない制度に改善する。

一、TPP問題、規制緩和については、世界に冠たる国民皆保険を守るため、公的医療保険の給付範囲の縮小につながることがないよう将来にわたって措置をする。

平成　年　月　日
○○○○○○候補者
広島県医師連盟委員長　平松恵一　印

自由民主党

宮沢　洋一（推薦）

生年月日　昭和25年4月21日（65歳）
出身大学　東京大学法学部
略歴
昭和49年　東京大学法学部公法学科卒業
昭和49年　大蔵省入省
昭和53年　米国ハーバード大学行政学大学院終了（MPA取得）
昭和55年　大阪国税局岸和田税務署長
平成4年　宮沢喜一内閣総理大臣首席秘書官
平成5年　大蔵省退官
平成12年　第42回衆議院議員総選挙当選（以降3期連続広島県第7選挙区で当選）
平成15年　衆議院厚生労働委員会理事
平成20年　自民党政務調査会副会長
平成17年　税制調査会幹事
自民党国土交通部会長
行政改革推進本部事務局長
住宅土地調査会副会長兼事務局長
内閣府副大臣（経済・財政政策・地方分権改革等担当）
平成22年　自由民主党広島県参議院選挙区第六支部支部長
平成22年　第22回参議院議員選挙当選
平成26年　経済産業大臣
平成27年　自由民主党税制調査会会長

現職